

今は「戦後?」「戦前?」

那覇市立上間小学校五年 渡嘉敷 穂な美

「お休みなさい」

いていた。

いつものように大好きなぬいぐるみを抱き、

え?まさか。

今日友達と話した事。

今は戦後じゃなくて第二の戦前なの?

お母さんと笑った事を思いながら目を閉じる。

イヤだよ。皆、思い出して。

ウトウトしていると、お父さんとお母さんの

もっと私たちに教えて。

携帯電話が大きな音を立ててなっている。

鉄の暴風、艦砲射撃に怯え暗い壕の中で過ご

なんだろう?

した事。

目を開けると、お父さんが慌てた様子でテレ

米兵に捕まるのを恐れ家族で殺しあった悲惨

ビをつける。

な出来事。

テレビからは、「ミサイル発射、ミサイル発射

決して忘れてはいけない。

避難してください」と何度も繰り返し訴える声

絶対繰り返してはいけない。

が、お母さんは窓を開け、外の様子を伺っている。

その為にも過去の過ちから目を背けず、悲惨

外から聞いたことのない不気味なサイレンの

な出来事をしっかりと語り継いでいかなきゃい

音。

けない。

避難を呼びかける放送が聞こえる。

お父さん、お母さん助けて。

「何が起きたの?」

私は今後も平和な戦後を生きたい。

「どうすればいいの?」

「怖いよ」

今は、戦争が終わって79年、たしか私は戦

後を生きているはず。

おじいちゃんから聞いた

「戦争は人が人でなくなる」

「家族が家族を殺してしまう」

そんな恐ろしい事二度と起きないと思ってた。

だけど、最近何かおかしい。

テレビでは、ミサイルが飛んできた時の為に

島から逃げ出す訓練の話。

学校で配られたお手紙には、「ミサイルが飛ん

で来たら丈夫な建物に避難する」

「落ちているミサイルには近づかない」ってか